

相模原市シルバー人材センター

検索



ホームページ

<https://webc.sjc.ne.jp/sagamisc/index>

公益社団法人
相模原市シルバー人材センター
相模原市中央区富士見4-3-1

会員数(令和4年9月1日現在)

2,802名

理事会だより

9月5日(月)に第3回理事会が開催されました。議案では令和5年度予算編成方針について審議され、令和5年度事業目標が提示され、慎重な審議の末下記の通り承認されました。

5年度目標	今年度比
会員数 2,950人	-150人
(男性 2,125人)	-125人)
(女性 825人)	-25人)
契約額 10億6千万円	同 額
就業率 87%	同 率

これらの数値は、新型コロナウイルスの影響が社会全体に及び当センターも影響を大きく受けている状況です。今年度の目標達成が難しい環境で契約額は今年度と同額といたしました。

また、会員拡大や受託事業拡大に向けた取り組みについて説明され、承認されました。

協議事項では、令和5年度配分金見積単価基準について県下の最低賃金が1,071円になることから、配分金単価について現状の最低配分金単価1,000円から71円アップの1,071円に改定する方針が示されました。

報告事項では、シルバーの日の活動や会員演芸会の開催等について取り上げられ、現状では、実施予定であることが報告されました。

また、令和5年1月～3月において、当センターに興味がある方が、気軽に参加ができる「出張シルバー説明会」を開催することが報告されました。これは、各公民館等に職員や理事等が出張し、より多くの会員を獲得するために開催します。

まだまだ、コロナウィルスが収束しない状況です。随時、県内や市内の感染状況を確認しながら、適宜判断をする予定ですが、原則として各種事業等を開催していくことが報告されました。

インボイス制度の特例的な取扱いに関する要望活動

シルバー人材センターの事業運営に大きな影響を及ぼす「インボイス制度(適格請求書等保存方式)」の導入に関して、センターの安定的事業運営のための適切な措置を求める意見書を国に提出していただくよう、8月16日に相模原市議会へ陳情書を提出しました。

陳情は、9月7日の相模原市議会民生員会において審議され、賛成総員で採択されました。また、相模原市及び神奈川県市長会においては、本村市長(神奈川県市長会会長)が国に同様の要望書を提出しています。

要望活動が実ることを期待して、今後の動向を注視したいと思います。

理事紹介

各ブロックの代表理事一人ずつ紹介致します。



中央ブロック
会員代表理事
小林 満さん
(組織部会)

小林満理事は令和4年6月10日に開催された定時総会において中央ブロック会員代表理事に選任されました。シルバー入会の動機は、会社在职中から退職したらシルバーに入会しようと考えていたとのこと。その志のとおり、矢部駅周辺での駐輪場、ワンコイン及び清掃等の仕事に就かれるとともに、その間、中央北地区の班長2年及び地区長8年を務め

られ、今回、理事に選任されました。

部会は、組織部会に所属され、「魅力あるシルバー人材センターをどのように醸成し組織の活性化を図るべきかが今後の課題」と話され、皆様のお力をお借りして頑張りたいと述べておられました。

また、地域活動も自治会役員、地区社協副会長など積極的に参画され、ご活躍されていることに敬服いたしました。

余暇の過ごし方は、ゴルフ、麻雀、旅行と多様な趣味をお持ちで、団体旅行など仲間との交流が楽しいと言っておられました。更なる活躍をご期待いたします。
(山川)



中央ブロック
会員代表理事
関野 劭さん
(総務部会)

関野劭理事は平成18年10月からシルバー人材センターに約16年間所属されています。安全管理対策員2年、班長4年、地区長6年を経験されてきました。

今年度は総務部会と安全管理委員会に所属さ

れ、事業・会員拡大推進員(中央ブロック)を担当しています。

現在は主に会員拡大の活動をされています。公民館回りや自治会連合会回りをされ、ポスター掲示依頼の手続きをされています。

趣味は低山の登山で大山は何回も登られ、以前は富士山を18回登られています。他には視覚障害者のボランティアを週1回、けやき体育館でブラインドテニスクラブのネット張りなどのお手伝いや旅行などのガイドをされています。
(小林)



中央ブロック
会員代表理事
小林 眞智子さん
(事業部会)

小林眞智子理事は、シルバー人材センターで、今までの経験を活かして、主に小学生の学習指導のお仕事をされています。特に、冬季・夏季の学習教室では、会員の仲間と一緒に子どもと楽しく教室を運営されています。また、その他に、中央事務所の清

掃、会報いきがいの編集委員として、活躍されています。これらの経験から、理事の推薦を受けて、この度中央ブロックの会員代表理事に選任されました。

現在は事業部会に所属しており、会員拡大や組織の発展について尽力されています。

趣味は、あじさい大学OB会に所属して、月2回油絵を描いており、年1回の展覧会に出品をしています。また、週1回習字を習っており、現在3段の腕前です。健康のために、スポーツジムにも週2回～3回通っており、充実した日々を過ごされています。
(山口)

新理事の紹介



南 ブ ロ ッ ク
会 員 代 表 理 事
三 戸 拓 さん
(総 務 部 会)

三戸拓理事は、地区長を務めておりましたが、この度、南ブロックで推薦を受けて、理事に選任されました。今年度から、「総務部会」に所属しています。

「シルバー人材センターを取り巻く現状を考えますと会員の減少化、高齢化、定年延長などの社会情勢の変化があります。また、会員の第一希望

とする仕事がない、第三希望とする仕事を紹介しても断ることが多く見受けられます。

周りからは『公の仕事をどんどん取ってきて』との声も多く聞かれますが、会員の要望に応えるには大変厳しい現況です。会員のために何ができるか何をなすべきかと暗中模索しています」と心境を語っていただきました。

趣味を伺ったところ、「沖縄でダイビングを楽しむこと、旅をすること、東京湾に面した三浦半島・房総半島等での鯛、キス、カサゴ等の船釣りなどです。これらの趣味はストレス解消のためにあり、いつも楽しんでます。」と話されていました。(松本)



緑 ブ ロ ッ ク
会 員 代 表 理 事
岩 本 雄 さん
(組 織 部 会)

岩本雄理事はシルバー人材センターに入会して、13年目になります。

城山地区長を務めた後、理事に選任されました。地区長を4年間務めていた際には、会員が減り続けているのを見て、何とかしなければと考えていました。

「会員増加には、入会していただく事と、仕事を用意する事。これは、車の両輪と同じだと思います。どちらが欠けても、前に進むことができません。実現するのは困難な作業になると思われま

す。このことは、センターが発展するためには避けて通れません。緑地区では1年前から、ブロック会議でこのテーマについて議論されてきました。タイミングよくセンターから、『事業・会員拡大推進員要綱』が令和4年4月1日に制定されました。これからは推進員の一人としても関わって、微力ですが会員増加・仕事拡大に尽力していきたいとのことです。

趣味はカラオケで、シルバー人材センター緑カラオケ同好会に入っています。「下手の横好きで、歌う時は皆様にご迷惑をお掛けしているかもしれませんが、そのうち少しは上手くなるだろうと、続けています」とのことです。

しかし、「同好会もコロナ禍で令和2年2月から活動がストップになったままです。月1回の再開を待ち望んでいるところです。コロナ禍が過ぎれば、会員以外の方も入会予備員としての期待を込めて、いろんな同好会を立ち上げたいと思っています」とこれからの展望を話されていました。(山口)

同好会入会のご案内

現在センターでは複数の同好会活動がございます。いずれも入会大歓迎です。ご興味のある方や、入会ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。皆様のご連絡をお待ちしております。

同好会一覧	
シルビア写友会	カラオケ同好会 (南ブロック)
吹き矢レクリエーション同好会	カラオケ同好会 (緑ブロック)
シルバーキッチン	白黒愛好会 (囲碁) (緑ブロック)
シルバーひょうたん会	健康マーじゃん同好会 (緑ブロック)
きものサークル (中央ブロック)	

いきがいの仲間たち

「風と花の観光休憩所あらいそ」の清掃業務に就業 【南ブロック】

「風と花の観光休憩所あらいそ」はJR相模線「相武台下駅」から相模川方面に徒歩15分に位置し、普通乗用車駐車場5台、大型駐車場3台、トイレ（男子用：大使用2、小使用2、洗面台1、女子用：大使用4、洗面台1、身障者用：大使用1、洗面台1）、ベンチ、テーブル、水飲み場が設置されています。相模川の河川敷沿いに芝桜ライン（1400m）があり、芝桜（3月下旬～4月中旬）が咲く時期に「相模川芝さくらまつり」が開催されています。見物客で大変賑わっています。その休憩所の清掃業務に就業する井上保博さん、美枝子さんご夫婦を取材しました。

就業期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日までで、これまで5年間、2人1組で2チームで清掃作業を行っています。1日1回（開閉合わせて）月に半月程度、トイレの出入口シャッター及び駐車場入口バリカーの開閉（3～10月：開は午前7時・閉は午後7時、11～2月：開は午前7時・閉は午後6時）、1日実働1時間で清掃業務を開閉時に行っています。美枝子さんはトイレ内の便器・

床等全般の清掃作業及びトイレットペーパー等の確認と点検を行います。保博さんは主に駐車場、植込みの除草、通路、ベンチ・水飲み場等の外側周辺の清掃作業を行っています。トイレの便器等が汚れていたり、駐車場に砂やゴミが散乱している場合がありますが、この休憩所を気持ちよく使って頂きたい為に、「毎日、清潔でキレイにすることを心がけて清掃作業に取り組んでいます」とおっしゃっていました。

趣味など伺ったところ、趣味はゴルフで、ご夫婦でゴルフコースを回るそうです。また、買い物もご一緒に行かれるそうです。穏やかで仲の良いご夫婦でした。

ご協力、ありがとうございました。（松本）



しめ縄づくり講習会に就業 【中央ブロック】



しめ縄づくり講習会で講師として就業する3名の方に取材をさせていただきました。山口豊さん、福田実さん、座間清崇さんです。しめ縄づくり講習会では、現在10人に対して1人が教えています。新型コロナの影響で1回の人数を減らして15人程度にしています。場所は、主に公民館や古民家園で教えています。

講習は12月の日曜日に、各公民館で希望者を募集して行われます。公民館は麻溝、中央、新磯、陽光台でその他大島子供会でも行われます。おおよそ、3時間程度で、9時から12時に開催されています。

しめ縄づくりは、五穀豊穰を願い昔からの伝統を守っていききたいとのことです。しめ縄を作るときには、「2つとして同じものはなく、世界に1つだけのものを作ります。素晴らしいものを作ってください。」と指導されるそうです。材料は飾りの部分は問屋から取り寄せているそうで、藁は稲穂を刈る前に

農家と契約して保管しておくとのことです。講習会では作る順序を説明して飾りをつけるそうです。

大変な所は藁の加工が大変だということと、作る人が訳が分からずやってしまう時が大変とのことです。うまく完成した時は良かったと思うそうです。

15年程前にしめ縄づくりを始めたそうですが、材料費等の値段が2割以上上がっているそうです。それでも、先代の方に稲穂を必ずつけるように言われており、伝統を引き継いでいるそうです。次に繋げていくためにもシルバーの会員の方でぜひやってみたいと思う方は連絡をしてほしいとのことです。

山口さんは盆栽が趣味で、20歳から集めたものがあるとのことです。福田さんと座間さんは家庭菜園で野菜作りをやられているそうです。

お忙しいところ取材にご協力いただきありがとうございました。（小林）



左から山口豊さん、福田実さん、座間清崇さん

中央・緑事務所で野菜販売を開催



会員の退会で、一時中断しておりました中央事務所での野菜販売を会員3名の方に協力いただき6月24日（金）から再開しました。

事業再開にあたり、野菜販売のメンバーにはシルバー会員のお声かけもあり、会員として入会していただいた経緯もありました。野菜販売の再開が会員増の副次的効果にも繋がったようです。

会員の方も新鮮な物を提供しようと、早朝から作業をされているとのことです。

会員が手塩にかけて収穫した野菜の一部を持ち寄っての販売ですが、特に、鮮度の良い旬の野菜などに人気があり即完売でした。

中央事務所の販売日

毎月第4金曜日：中央事務所駐車場

緑事務所の販売日

毎月第2金曜日：サン・エールさがみはら

毎月第4金曜日：緑事務所作業所

（祝祭日にあたる場合は木曜日に販売します。）

野菜1袋どれでも100円

（一部100円以上のものもあります）

午前9時30分から販売開始です。

皆様のご利用をお待ちしています。 （山川）

安全管理委員会からのお知らせ

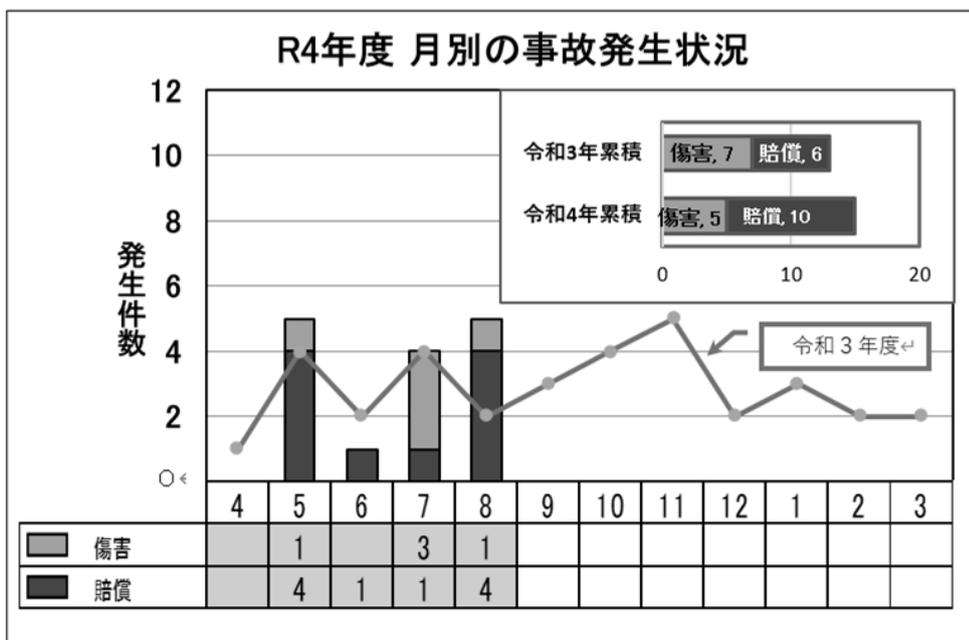
【就業会員の事故発生状況】

8月末時点の発生件数累計は15件となり、既に過去最高だった昨年度の13件を上回った状況になっています。

事故内容を見ると、傷害は熱中症と思われる入院事故、賠償では竹伐採時の車両損傷事故、刈払機使用時の車両後面ガラス全損事故などの重大事故も発生しております。

今のペースで行くと、今年度終わりにはかなり多くの件数となる可能性があります。

安全管理委員会としても、少しでも事故を減らせるよう努力してまいりますので、会員の皆さまにおかれましてもご協力をお願い致します。



小学生学習教室・中学生数学教室の開催結果

今年も、教員経験等のある会員が子どもたちに教えることを含めた“育てる”ことを前提に、基礎学習を習得することを目的として、夏休みの小学生学習教室と中学生数学教室が行われました。

まだまだ、コロナウィルスの感染拡大状況が収束していないことから、感染対策をきっちりと実施したうえで、受講した生徒は楽しく勉強をしているとともに、指導する講師（会員）側も楽しく教室を運営しており、非常に活気のある教室となりました。

受講者人数は、次のとおりでした。

★中学生数学教室（中央事務所）	延数 10名
☆小学生学習教室（中央事務所）	延数 18名
★中学生数学教室（緑事務所）	延数 4名
☆小学生学習教室（緑事務所）	延数 8名
★中学生数学教室（南事務所）	延数 2名
☆小学生学習教室（南事務所）	延数 5名

今年度も、小学生・中学生の冬休みと春休みに、教室の開催を予定しております。

会員の皆様も、お孫さんや近隣に知り合いの小学生・中学生がいらっしゃいましたら、是非ともご案内をよろしくお願い致します。



「デジタル活用支援推進事業」の実施団体に選ばれました

デジタル庁が発足してから、1年を迎え新型コロナウイルスの感染拡大で露呈したデジタル化の遅れを挽回するため、総務省は昨年6月から2025年度までにのべ1,000万人の高齢者らのデジタル講習会への参加を目指しています。

しかし、60代以降のスマホ所有率は8割に達したものの、スマホはやはり難しいと答えている方が7割以上おられます。

そのため、高齢者がスマートフォンの使い方や、オンラインでの行政手続きなどを基礎から学べる講習会が必要であると計画されました。

やはり、デジタル化は高齢者の方への普及がかぎとなるようです。

すでに、国が進める「デジタル活用支援推進事業」の講習会が全国各地で開かれ、NTTドコモや携帯ショップで開催されておりましたが、当センターもデジタル化の推進にその一翼を担うことになりました。

なお、国が推進する講習内容は、右欄に掲載しました。

基本講座

- ・電源の入れ方、ボタン操作
- ・電話のかけ方、カメラの撮影方法
- ・アプリのインストール方法
- ・メールの使い方
- ・地図アプリの使い方
- ・LINEやSNSの使い方

応用講座

- ・マイナンバーカードの申請方法
- ・マイナポータル（各種行政手続き）
- ・マイナポイント
- ・e-tax（税申告）
- ・利用期間のオンライン予約診療
- ・スマホでワクチン接種証明書を取得する

※神奈川県内のシルバー人材センターで、実施団体に選ばれたのは当センターだけです！

開催場所：市内公民館10カ所

定員：各10名

※詳細は、9月15日号の広報「さがみはら」に掲載

多摩市シルバー人材センターの視察

令和4年8月30日(火) 公益社団法人多摩市シルバー人材センターへ、「シルバー人材センターにおけるICT活用」について視察に行きました。当センターからは、ICT活用検討委員会の理事2名・委員2名と事務局1名の5名が、多摩市シルバー人材センターからは、理事長・専務理事・常務理事兼事務局長・次長・参事の5名が参加しました。

多摩市シルバー人材センターは、積極的にICT化に取り組み、ペーパーレス化の推進、意思決定の効率化・迅速化を図り「ICT化で多様な効果を上げているセンター」として、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が編集協力をしている月刊誌で紹介されています。

具体的な活用例として、就業リーダーにスマホを貸与し、「事務局からの連絡や注意喚起等の周知」(情報伝達・共有)、「就業報告書を現場から事務所に送る」(業務の効率化)、「緊急時の迅速な連絡」(事故等の迅速な対応)等があります。センター業務としては、タブレット機器を活用し「モバイル会議の推進」、「各種会議のペーパーレス化」や「業務の効率化」等に取り組んでいます。

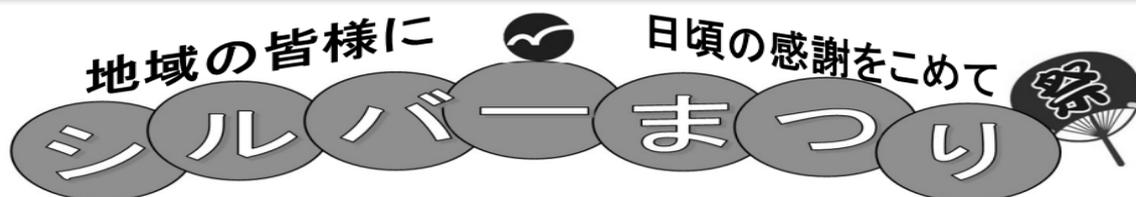
今回、多摩市シルバー人材センターを視察したところ、こちらでは非常にICT化が進んでおりました。ICT化を推進することで、会員とセンター職員の大幅な業務改革が行われており、コロナ禍で各地のセンターが苦戦する中、会員数や契約金額が増加(令和3年度東京都第1位)しております。これらは、会員ファーストを掲げ、「運営」から「経営」に完全にシフトした結果とのことでした。

シルバー人材センター全体の今後の在り方について考えさせられる内容であるとともに、当センターの今後の発展に向けて、貴重な情報となりました。今回の視察は大いに参考にしたい内容であり、今後の発展に向けて、大変有意義な視察でした。

(注) ICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術)



シルバーまつり開催のご案内



日時

令和4年11月6日(日)

10時から14時(雨天時は13日(日)に延期)

会場

橋本公園(緑区西橋本5-3)

フリーマーケット

刃物研ぎ

子ども向けアトラクション

飲食物の販売

野菜販売

網戸・障子張り替えの実演

ホダギ(椎茸)販売

その他にも多数のブースを出展予定!

薪(マキ)販売

主催:公益社団法人相模原市シルバー人材センター

☎042-783-1313

(後援:相模原市)



「しめ飾り」の予約販売について

今年度もお正月用「しめ飾り」の販売を実施する予定です。皆様ぜひいかがでしょうか。

*申込期限：11月30日（水）

*商品受渡しは12月22日（木）、23日（金）の9時から15時

*代金は商品と引き換えです。お釣銭の無いようご協力をお願いします。

*お申し込みやその他詳細について、センター各事務所・連絡所へお願いいたします。



高さ約70cm
(大)2,000円



高さ約40cm
(小)1,500円



※お飾りなど、若干写真と異なる場合があります。
高さ約20cm
(リース)1,000円

読者投稿作品

元気をもらって

私は今、近くの医院で働いています。そこでは、週2回スタッフルームの片づけや掃除等を行います。

院長をはじめ、看護師の皆さんは、やさしく良い人ばかりで明るい職場です。

仕事の終わりには、終礼を行っています。一日のねぎらいと、今日、働いてどんな良い事があったのかを発表するのです。

私も時々発表させて頂くのですが、「患者さんにほめられた」「子供さんが元気に挨拶してくれてうれしかった」とか些細なことなのですが、そんなときの皆さんの拍手がとても温かく、この職場で働くことができ良かったと思います。

そのおかげか、町へ出た時も、夫と二人で居る時も、物事をポジティブに考える様になりました。

めぐり会いの広場への、多くの投稿をお待ちしています。日頃、思う

ことなどなんでも結構です。

「応募のお問い合わせ等は、事務局までご連絡をください。」

各事務所連絡先

- <事務局・中央事務所>042(754)1177
- <南事務所>042(745)2158
- <緑事務所>042(783)1313
- <津久井連絡所>042(780)1872
- <相模湖連絡所>042(684)3126
- <藤野連絡所>042(686)6505

山柳

「片付けを さぼると

ゴミが 又 たまる」

「朝刊が

来ない日の朝 退屈し」

田名 畠山 義喜さん

「やめておく 買えば

私が食べる羽目」

「雨やんで 鳥になりたい

空があり」

「真夜中の 秒針

朝になりたがる」

二本松 見城 マサ子さん

編集後記

安倍元総理が凶弾に倒れた。安倍元総理と言えば山口県（長州）の出身である。歴代、数多くの総理を輩出している。なぜ、総理の座に就く人が多いのか。

松下村塾の主宰者であった吉田陰の影響が大きいと言われている。処刑直前に江戸・小伝馬町牢屋敷の中で書き上げられた最期の句「四季の順環」がある。

「人の一生は四季のようなものだ。自分はもうすぐ死ぬが実りの秋を迎えようとしている。春夏秋冬、農民は春に種を蒔き、秋に収穫の時を迎える。人の一生は農事とは違って定まりがない。私は30歳、すでに四季は備わっている。花を咲かせ、実をつけているはずである」

明治以降、山口県は、これまでに全国最多の8人の総理を輩出している。吉田松陰は、種を蒔いて、花を咲かせ、実をつけたのである。

つまり、人間というものは、生死を度外視して、なすべきことをなすことが大事である。ひとの命は歳月の長さではない。人生の四季を全うしたかを説いている。

「四季の順環」は、どんな人生も、まるごと、美しい四季の移ろいだと励ましてくれる。シニアの私たちには勇気を与えてくれる行々だりである。

編集委員 山川